

微量用センサ

640S-6

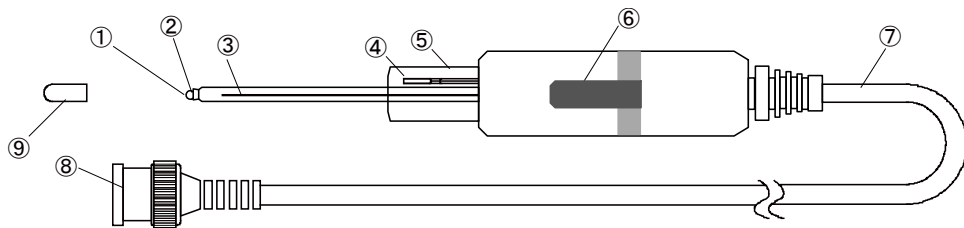
取扱説明書

このたびは、微量用センサ「640S-6」をお買いあげいただきありがとうございました。

◎この商品は、弊社 pH 計 (SK-620PH II、SK-640PH および SK-650PH) に接続して水素イオン濃度 (pH) をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。

◎ご使用前には必ず取扱説明書 (本書) をお読みになり大切に保管してください。

各部の名称



- | | | |
|----------------|---------|--------------|
| ①ガラス電極膜 | ④比較内部電極 | ⑦センサコード |
| ②液絡部 (スリーブタイプ) | ⑤電極支持管 | ⑧pH センサ接続プラグ |
| ③ガラス内部電極 | ⑥内部液補充口 | ⑨電極キャップ |

ご使用する前に

初めてご使用するときや数日以上保管した後にご使用する場合、pH 測定の実答が遅れることがあります。必ず下記の操作で電極をなじませてからご使用ください。

①本器の電極キャップを取り外します。

注意: 電極キャップ内にはガラス電極膜乾燥防止のため塩化カリウム溶液を充てんしています。取り外しの際、塩化カリウム溶液がこぼれる恐れがあります。

②ガラス電極を pH 標準液または水などに約 2 時間以上浸してからご使用ください。

ご使用方法

①本器の電極キャップを取り外します。

※内部液がこぼれるため、立てた状態で電極キャップを取り外してください。

②内部液補充口のキャップを開放します。

③本器を指示計に接続して、電源を入れます。

④指示計の手動温度設定機能により、測定試料または測定環境の温度に合わせます。

※手動温度設定の操作方法は指示計の取扱説明書をご確認ください。

また別売りの PH 計用温度センサを使用すると自動温度補償 (ATC) を使用することができます。

⑤測定試料にセンサ先端を浸けて測定します。

※測定前にキャリブレーションを行ってください (1 日 1 回程度のキャリブレーションをお勧めします)。

※測定試料は 2、3 滴 (液高 3mm 以上、ガラス電極膜および液絡部が浸かる程度) での測定が可能です。

注意: ガラス内部電極に気泡が付着していないことを確認してから測定してください。

気泡が付着している場合は本器を軽く振り気泡を移動させてください。

⑥測定終了後、指示計の電源を切ります。

⑦内部液補充口を閉じます。

⑧ガラス電極を蒸留水、純水または水道水でよく洗浄した後、塩化カリウム溶液または蒸留水・水道水を入れた電極キャップを被せて保管してください。

※指示計の取り扱いについては、指示計付属の取扱説明書をご確認ください。

お手入れ

1. ガラス電極について

ガラス電極膜が汚れているときは、次の手順でお手入れをしてください。

●有機物の汚れの場合

中性洗剤を薄めたものをガーゼまたは脱脂綿等に含ませ、軽く拭いた後、純水でよく洗浄してください。

●無機物の汚れの場合

0.1 規定程度の塩酸または中性洗剤にガラス電極膜を浸した後、純水でよく洗浄してください。このとき長時間の浸漬は避けてください。

注意: 液絡部に中性洗剤を付けないようご注意ください。

中性洗剤が内部にしみ込み、内部液の特性が変化する場合があります。

2. 比較電極について

①比較内部電極の位置より内部液が減った場合は内部液を補充してください。

補充する内部液は付属の内部補充液を使用し、本器の内部液補充口から適量を入れてください。

②内部液が汚れた場合は、支持管内の内部液を取り除き、新しい内部液で支持管内をよく洗浄してから内部補充液を入れてください。

内部液は定期的に交換することをお勧めします。

注意: 本器は特性および構造上、修理することができません。ガラス電極が破損したり、性能が劣化した場合は新しいセンサに交換してください。

⚠ 注意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことを守ってください。

- ・センサはガラス製です。また、精密にできていますので落下させたり、衝撃を与えないでください。
- ・電氣的ノイズが発生する環境で使用しますと表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- ・コードを改造、無理に引っ張る、曲げる、束ねることをしないでください。断線、故障の原因となります。
- ・測定範囲外でのご使用は故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- ・人体に直接触れて測定しないでください。
- ・有機溶剤、油、接着剤、界面活性剤などの測定試料によってはガラス電極を傷つけ、寿命を短くすることがあります。
- ・純水の pH を測定した場合、測定値が安定しないことがあります。
- ・pH 標準液が手や皮膚についたときは、速やかに流水で洗い流してください。万一、目に入った場合は直ちに水洗いして、医師に相談してください。
- ・pH 標準液はお子さまの手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- ・自動車などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器を故障させることがあります。このような場所には放置しないでください。

